

## けいしちょう安全安心モニター制度

### ■ 目的

「安全で安心して暮らせる街、東京」の実現に向けた諸対策を効果的に推進するため、警察業務における課題等に関し、都民等からの意見や提案をインターネット利用によるアンケートを実施することにより集約し、迅速かつ効果的に施策等に反映させることを目的とする。

### ■ 制度の概要

#### 1 調査対象者(けいしちょう安全安心モニター)

満18歳以上の都内在住、在勤又は在学する者 1,000名以内

※ 警視庁ホームページ上でモニターを公募し、応募者の中から、性別、年代、居住地等を考慮して候補者を選定し、電子メールにより通知(依頼)

#### 2 アンケートの実施

##### ○ 調査方法

インターネットを利用したアンケートによる調査

##### ○ 調査項目(アンケートテーマ)

重点的に実施している施策や今後取り組む課題等に必要な事項

##### ○ 調査回数

平成25年度内に4回実施予定

#### 3 謝礼

アンケート1回につき、図書カード(500円券)1枚を年度末にまとめて交付

## 調査の概要

### ■ 調査テーマ

「体感治安の向上と震災対策」について

### ■ 調査目的

治安に関して感じることや地震に対する意識、大震災が発生したときの交通規制の認知度などについて調査し、犯罪の起きにくい社会づくりや災害対策のための施策等の参考とするため。

### ■ 調査期間

平成25年7月26日(金)から平成25年8月5日(月)までの間

### ■ 調査方法

インターネットを利用したアンケート調査

### ■ 調査対象(平成25年度けいしちよう安全安心モニター)

994名

※ 公募した満18歳以上の都内在住者、在勤者又は在学者

### ■ 回答者数

928名(回答率 93.4%)

### ■ 回答者の属性

属		性	回収数	構成比
全		体	928	100.0
性別	男	性	465	50.1
	女	性	463	49.9
年代別	18歳～19歳		9	1.0
	20代		92	9.9
	30代		184	19.8
	40代		199	21.4
	50代		153	16.5
	60代		174	18.8
	70歳以上		117	12.6
職業別	会社員		300	32.3
	公務員		23	2.5
	自営業		90	9.7
	パート・アルバイト		81	8.7
	学生		45	4.8
	主婦		205	22.1
	無職		138	14.9
	その他		46	5.0
居住地域別	都内在住	23区部	619	66.7
		市町村部	290	31.3
	都外在住	19	2.0	

※集計結果は、百分率(%)で示している。小数点以下第2位を四捨五入して算出した。そのため、合計が100.0%にならないものがある。

※n (number of cases)は、比率算出の基数であり、100%が何人の回答者に相当するかを示す。

## 「体感治安の向上と身近な犯罪の被害防止」について

「安全で安心して暮らせる街、東京」の実現に向け、警視庁では、「規範意識の向上」と「地域の絆の再生」をキーワードとして、「犯罪の起きにくい社会づくり」に取り組んでいます。

今回のアンケートは、『体感治安の向上と震災対策について』をテーマに、治安に関して感じることや地震に対する意識、大震災が発生したときの交通規制の認知度などについて調査し、犯罪の起きにくい社会づくりや災害対策のための施策等に活用させていただくものです。

### ◇東京都の治安について

- Q 1 現在の東京都の治安は、10年前と比較して良くなったと思いますか。 . . . . . 4
- Q 2 日常生活において、現在又は近い将来、自分や家族が、何らかの犯罪に巻き込まれるかもしれないという不安を感じていますか。 . . . . . 5
- Q 3 日常生活において、自分や家族が巻き込まれるかもしれないと思うのは、どのような犯罪ですか。 . . . . . 6
- Q 4 自分や家族が巻き込まれるかもしれないと思うのは、どのような理由ですか。 . . . . . 7

### ◇地震に対する備えについて

- Q 5 東京で大地震（首都直下地震等）が起きると思いますか。 . . . . . 8
- Q 6 自宅で首都直下地震に遭遇し、家具などの下敷きになり生き埋めになった場合、誰があなたを助けてくれると思いますか。 . . . . . 9
- Q 7 家庭での防災対策は、東日本大震災直後に比べてどのようになりましたか。 . . . . . 10
- Q 8 防災対策をしていないのは、どうしてですか。 . . . . . 11
- Q 9 現在、家庭では、どのような防災対策をしていますか。 . . . . . 12
- Q 10 地域の人との交流はありますか。 . . . . . 13
- Q 11 町会・自治会の防災訓練に参加したことがありますか。 . . . . . 14
- Q 12 防災訓練に参加しない（しなくなった）のは、どうしてですか。 . . . . . 15
- Q 13 会社や学校にいるとき、あるいは外出しているとき、首都直下地震が発生したら、会社や学校又は一時滞在施設に3日間留まることができますか。 . . . . . 16
- Q 14 首都直下地震の発生に備え、警察に最も期待する防災対策はどれですか。 . . . . . 17

### ◇大震災が発生した場合の交通規制について

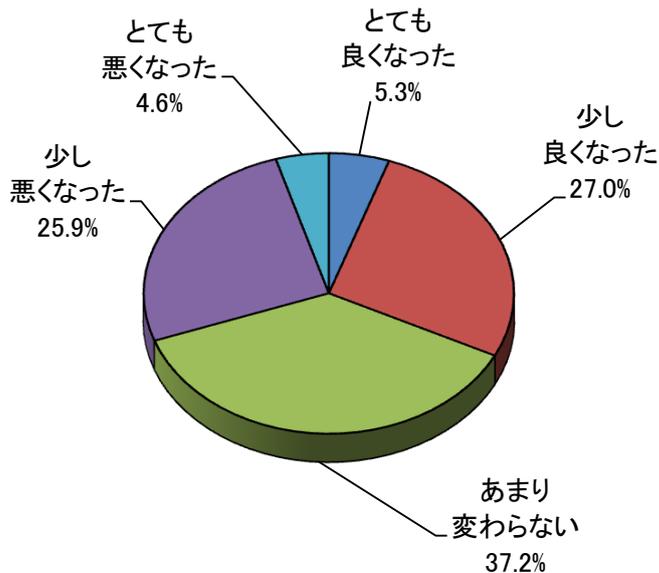
- Q 15 日常生活で車を運転しますか。 . . . . . 18
- Q 16 大震災が発生した場合は、車両の通行禁止などの交通規制が実施されることを知っていますか。 . . . . . 19
- Q 17 大震災が発生した場合の交通規制をどのようにして知りましたか。 . . . . . 20
- Q 18 大震災が発生した場合、7つの路線が「緊急自動車専用路」に指定されて一般車両の通行ができなくなりますが、指定されることを知っていた路線はありますか。 . . . . . 21
- Q 19 大震災が発生した場合の交通規制では、環状7号線から都心方向に一般車両が通行できなくなることを知っていましたか。 . . . . . 22
- Q 20 大震災が発生した場合の交通規制について、警察はどうするべきだと思いますか。 . . . . . 23

## 東京都の治安について

Q 1 現在の東京都の治安は、10年前と比較して良くなったと思いますか。  
該当する項目を一つだけ選んでください。

【全体】(n=928)

### 今回の実施結果

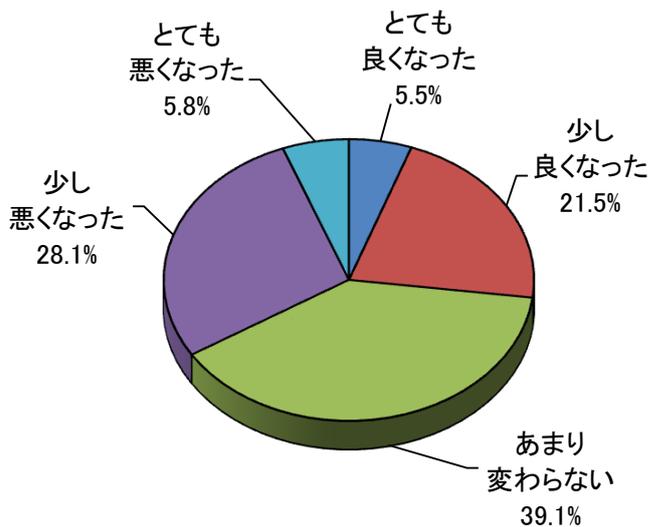


※ 「良くなった(計)」  
(32.3%)  
= 「とても良くなった」  
+ 「少し良くなった」

※ 「悪くなった(計)」  
(30.5%)  
= 「とても悪くなった」  
+ 「少し悪くなった」

【全体】(n=929)

### 前回の実施結果



※ 「良くなった(計)」  
(27.0%)  
= 「とても良くなった」  
+ 「少し良くなった」

※ 「悪くなった(計)」  
(33.9%)  
= 「とても悪くなった」  
+ 「少し悪くなった」

※平成24年度第1回アンケート実施結果との比較

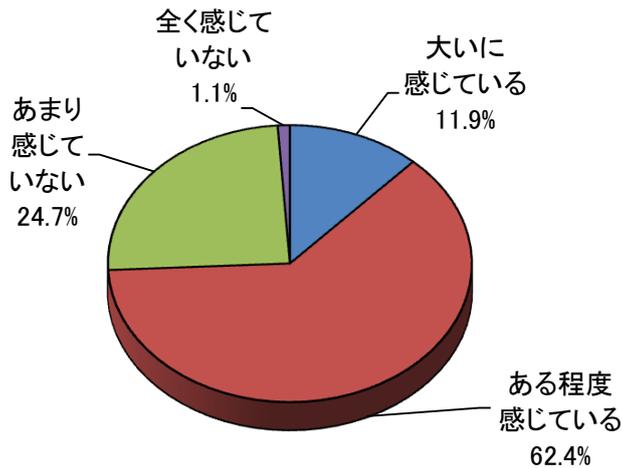
「良くなった」と回答した人の割合が5.3ポイント増加  
「悪くなった」と回答した人の割合が3.4ポイント減少

## 東京都の治安について

Q 2 日常生活において、現在又は近い将来、自分や家族が、何らかの犯罪に巻き込まれるかもしれないという不安を感じていますか。該当する項目を一つだけ選んでください。

【全体】(n=928)

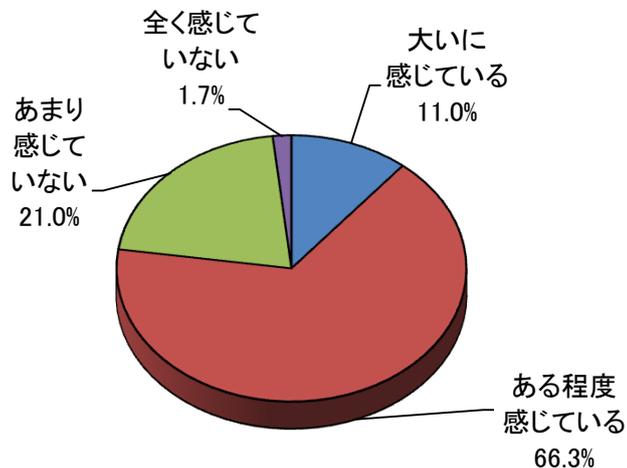
### 今回の実施結果



※ 「感じている（計）」  
 (74.3%)  
 = 「大いに感じている」  
 + 「ある程度感じている」  
 ※ 「感じていない（計）」  
 (25.8%)  
 = 「全く感じていない」  
 + 「あまり感じていない」

【全体】(n=929)

### 前回の実施結果



※ 「感じている（計）」  
 (77.3%)  
 = 「大いに感じている」  
 + 「ある程度感じている」  
 ※ 「感じていない（計）」  
 (22.7%)  
 = 「全く感じていない」  
 + 「あまり感じていない」

※平成24年度第1回アンケート実施結果との比較

「感じている」と回答した人の割合が3.0ポイント減少

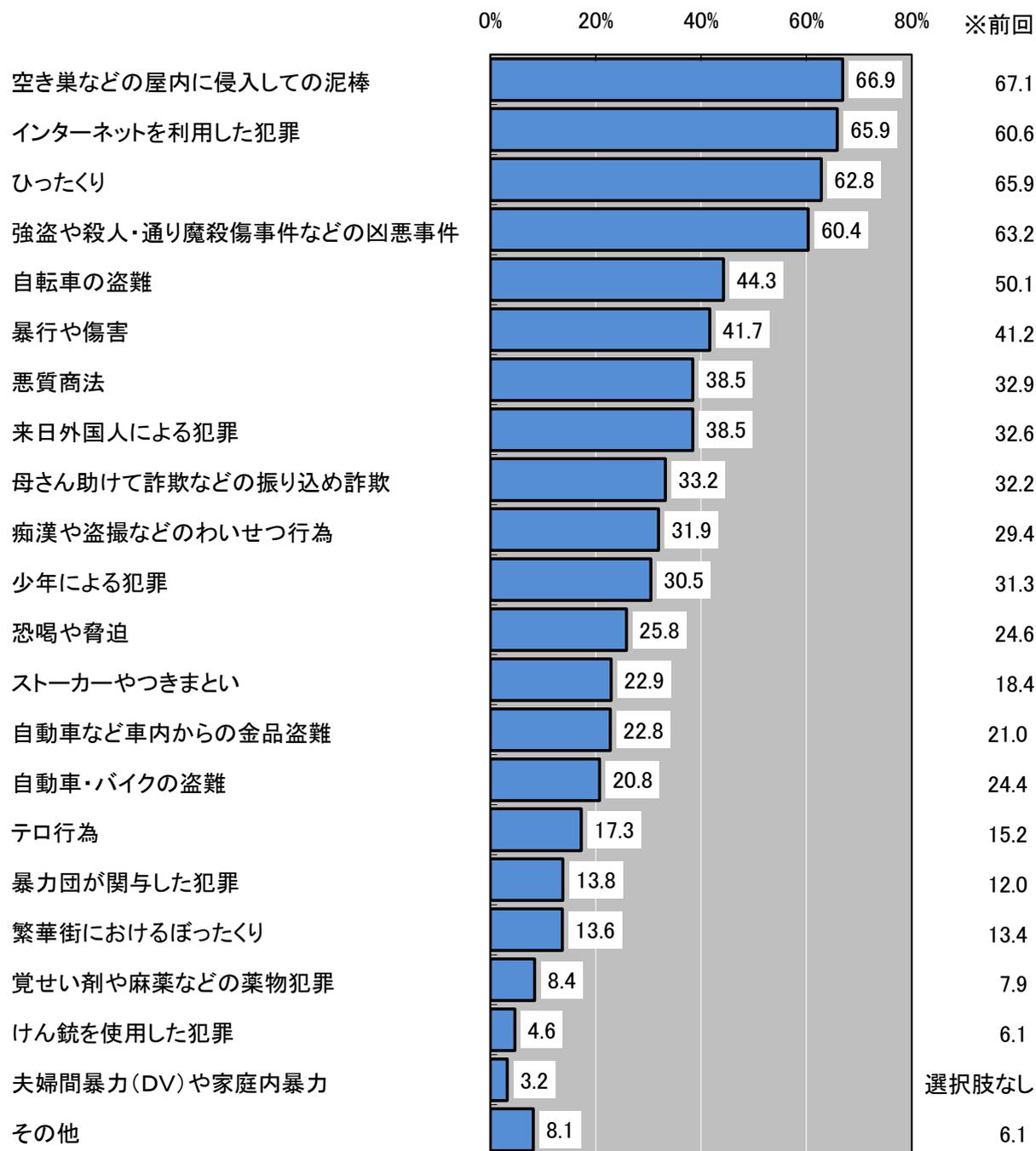
「感じていない」と回答した人の割合が3.1ポイント増加

## 東京都の治安について

Q2で「大いに感じている」又は「ある程度感じている」と選択した方にお尋ねしました。  
(74.2% 689人)

Q3 日常生活において、自分や家族が巻き込まれるかもしれないと思うのは、どのような犯罪ですか。該当する項目を選んでください(複数選択可)。

【全体】(n=689)



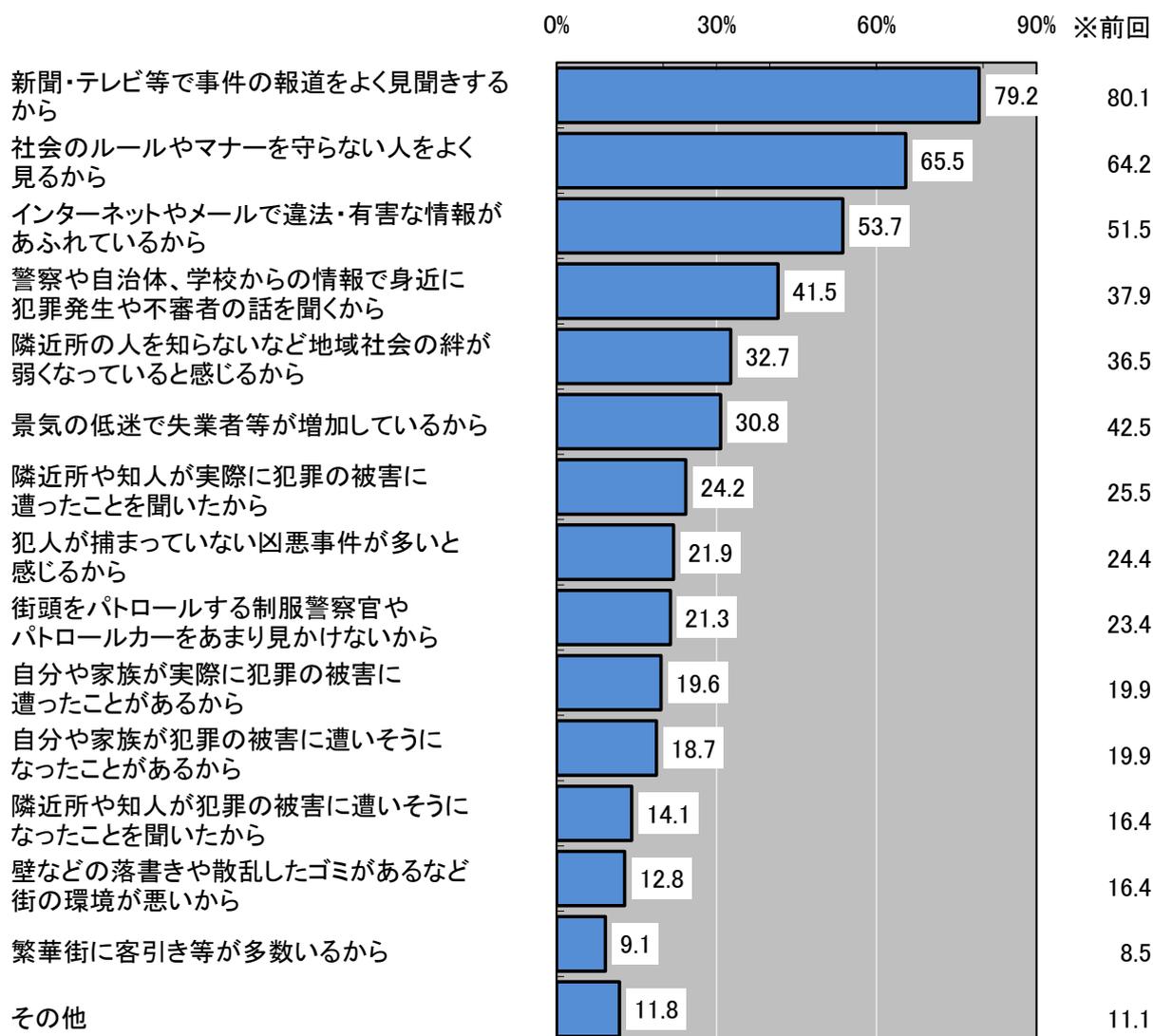
※グラフの右側に記載した数値は、平成24年度第1回アンケート実施時のものです。

## 東京都の治安について

Q2で「大いに感じている」又は「ある程度感じている」と選択した方にお尋ねしました。  
(74.2% 689人)

Q4 自分や家族が、何らかの犯罪に巻き込まれるかもしれないと思うのは、どのような理由からですか。該当する項目を選んでください(複数選択可)。

【全体】(n=689)

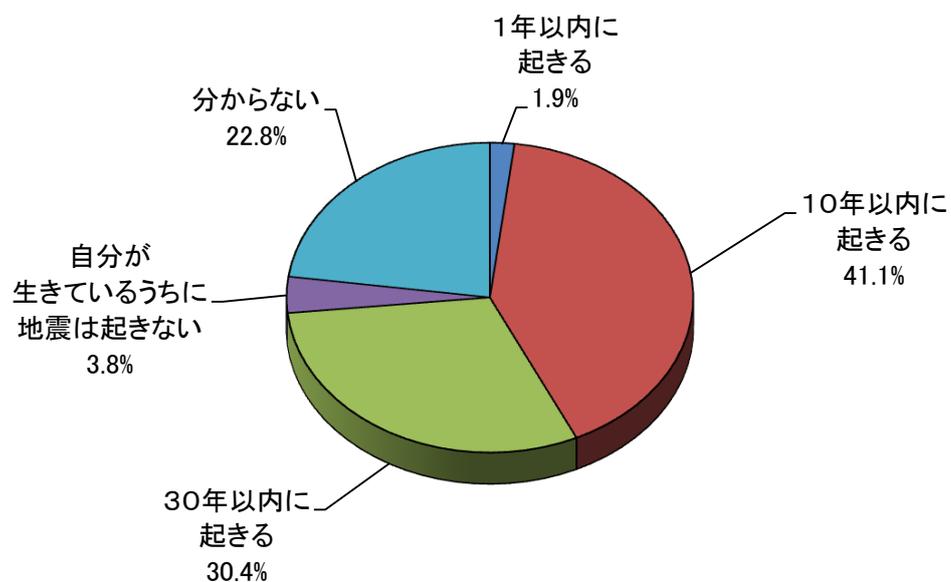


※グラフの右側に記載した数値は、平成24年度第1回アンケート実施時のものです。

## 地震に対する備えについて

Q 5 東京で大地震（首都直下地震等）が起きると思いますか。  
該当する項目を1つだけ選んでください。

【全体】(n=928)

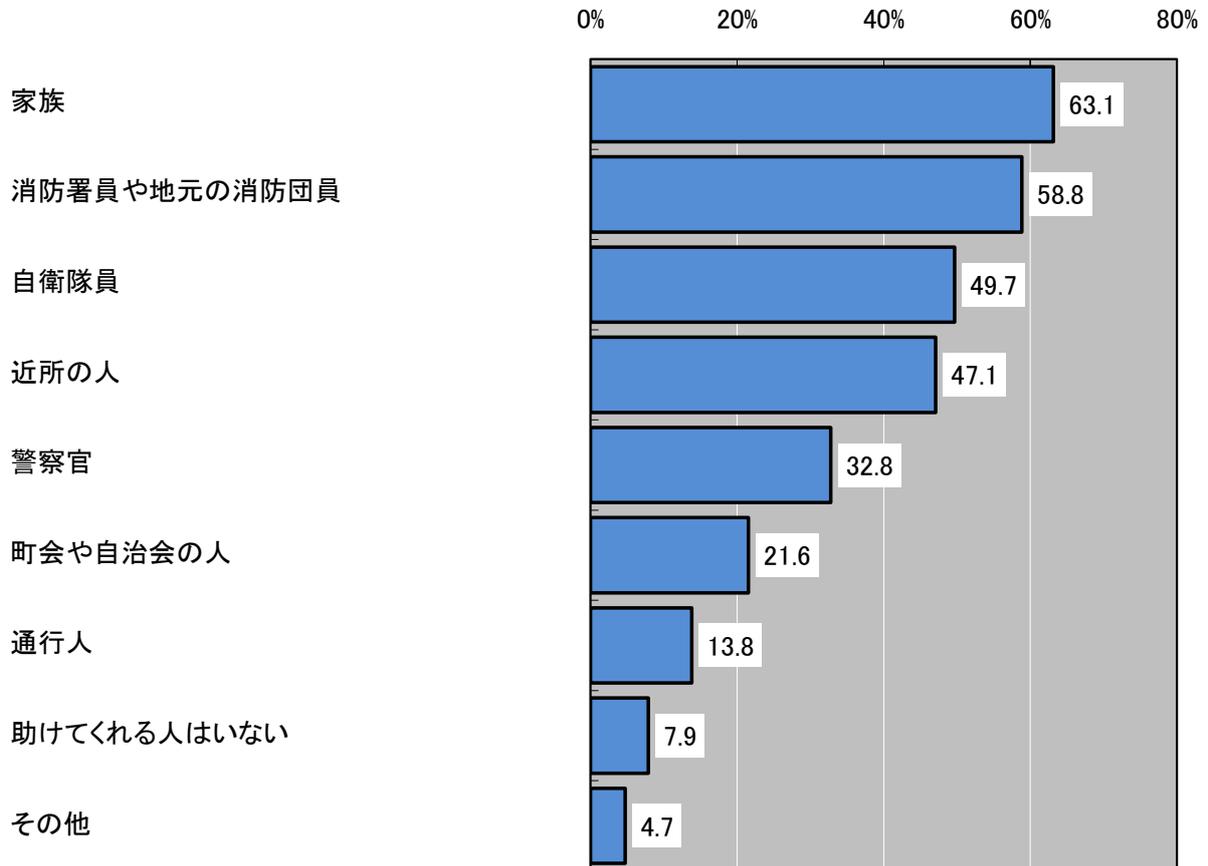


※「東京で大地震（首都直下地震等）が起きる（計）」（73.4%）  
＝「1年以内に起きる」＋「10年以内に起きる」＋「30年以内に起きる」

## 地震に対する備えについて

Q 6 自宅で首都直下地震に遭遇し、家具などの下敷きになり生き埋めになった場合、誰があなたを助けてくれると思いますか。該当する項目を選んでください（複数選択可）。

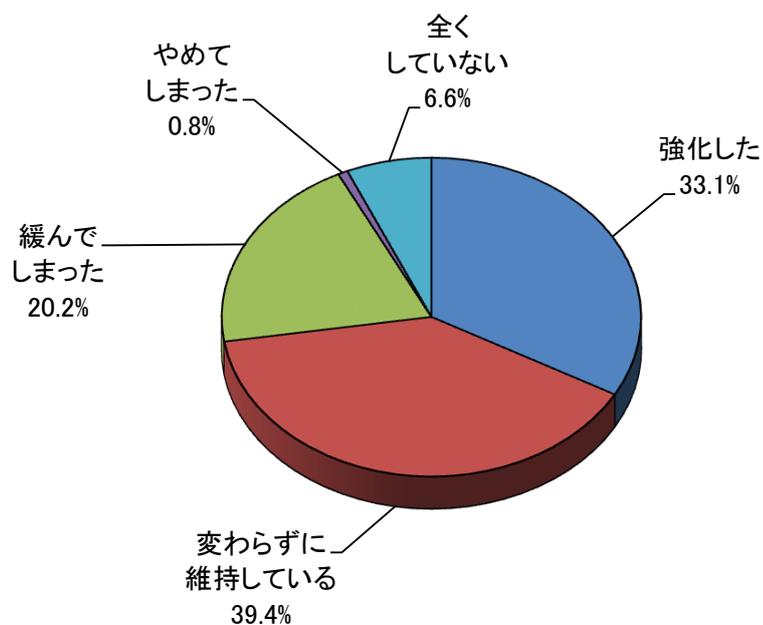
【全体】(n=928)



## 地震に対する備えについて

Q7 あなたの家庭での防災対策は、東日本大震災直後に比べてどのようになりましたか。  
該当する項目を1つだけ選んでください。

【全体】(n=928)



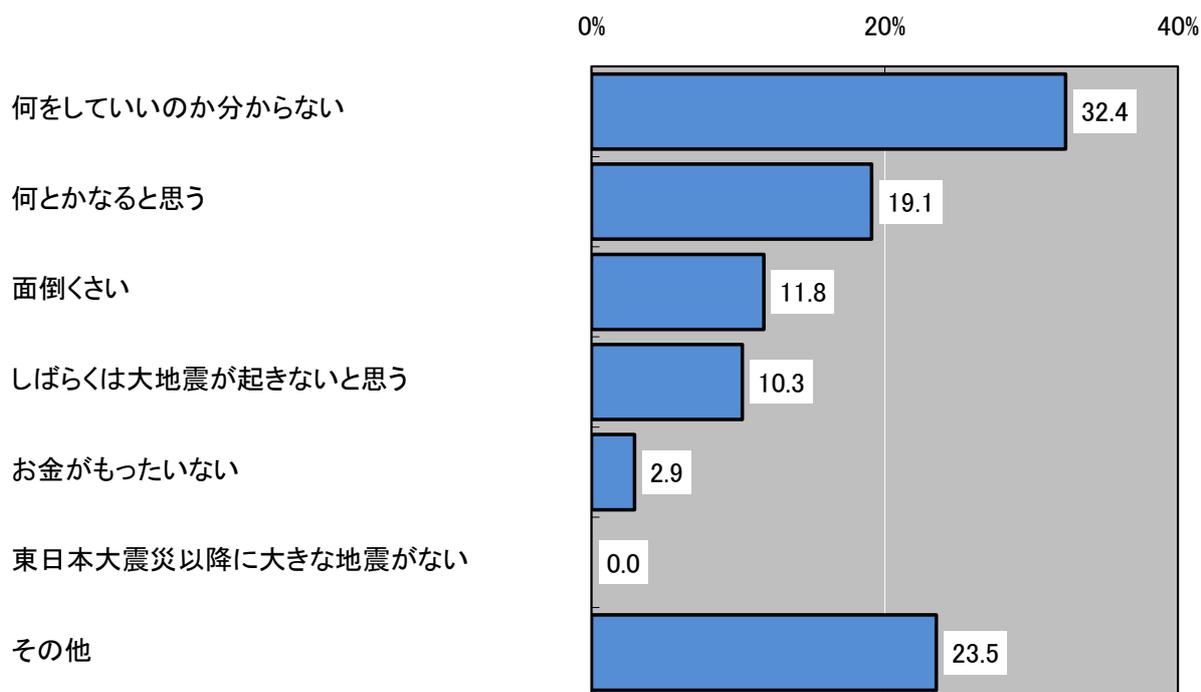
※「強化・維持している(計)」(72.5%)  
=「強化した」+「変わらずに維持している」  
「やめた・していない(計)」(7.4%)  
=「やめてしまった」+「全くしていない」

## 地震に対する備えについて

Q7で「やめてしまった」又は「全くしていない」と選択した方にお尋ねしました。  
(7.4% 68人)

Q8 防災対策をしていないのは、どうしてですか  
該当する項目を1つだけ選んでください。

【全体】(n=68)

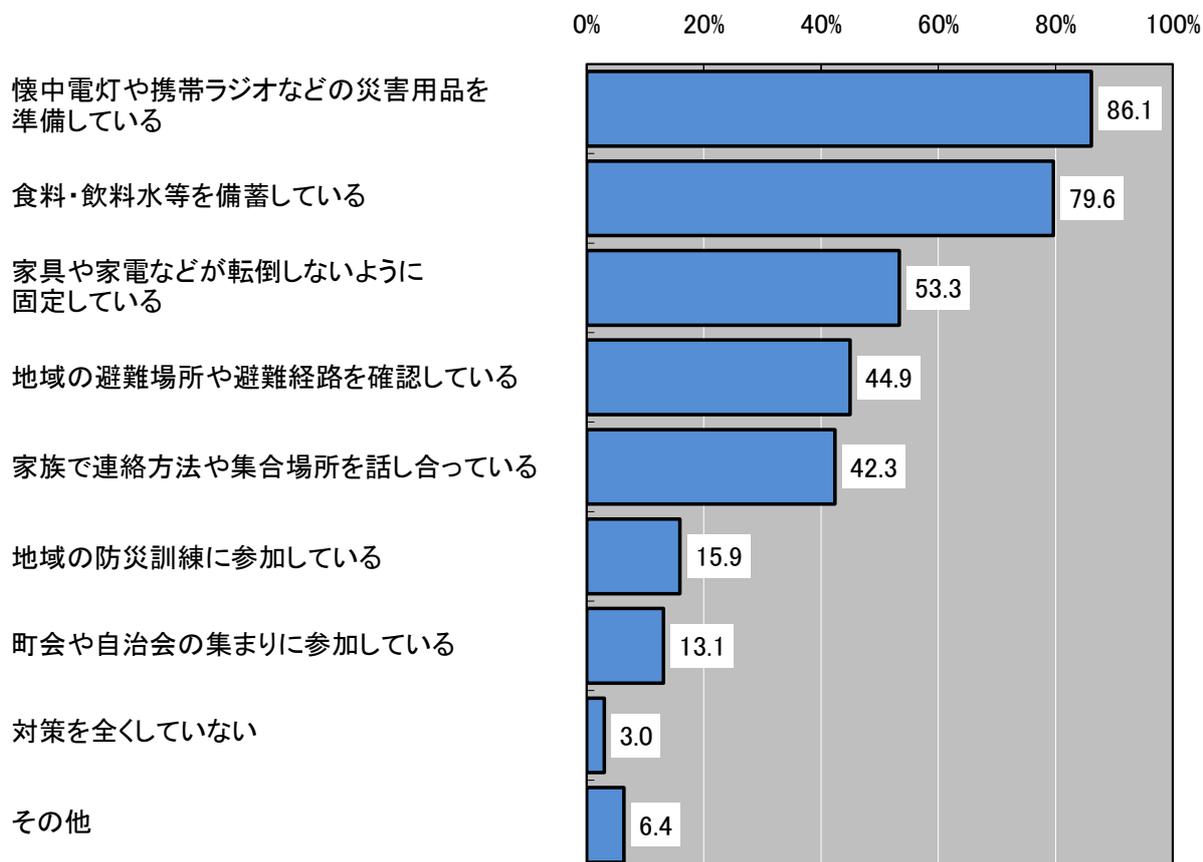


※「その他 (n=16)」については、「必要と思いつつも後回しになっている」等の回答があった。

## 地震に対する備えについて

Q9 現在、家庭では、どのような防災対策をしていますか。  
該当する項目を選んでください（複数選択可）。

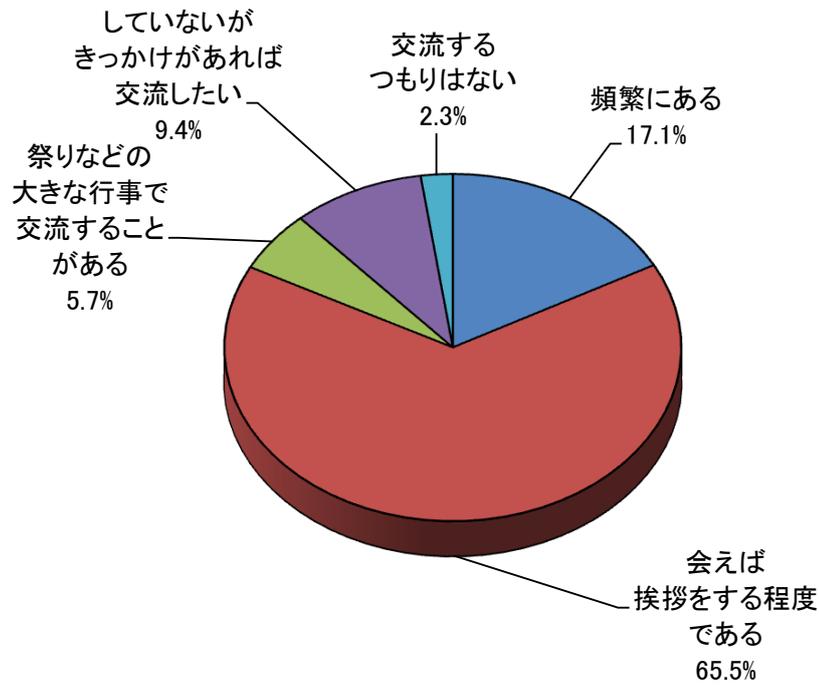
【全体】(n=928)



**地震に対する備えについて**

Q10 地域の人との交流はありますか。  
該当する項目を1つだけ選んでください。

【全体】(n=928)

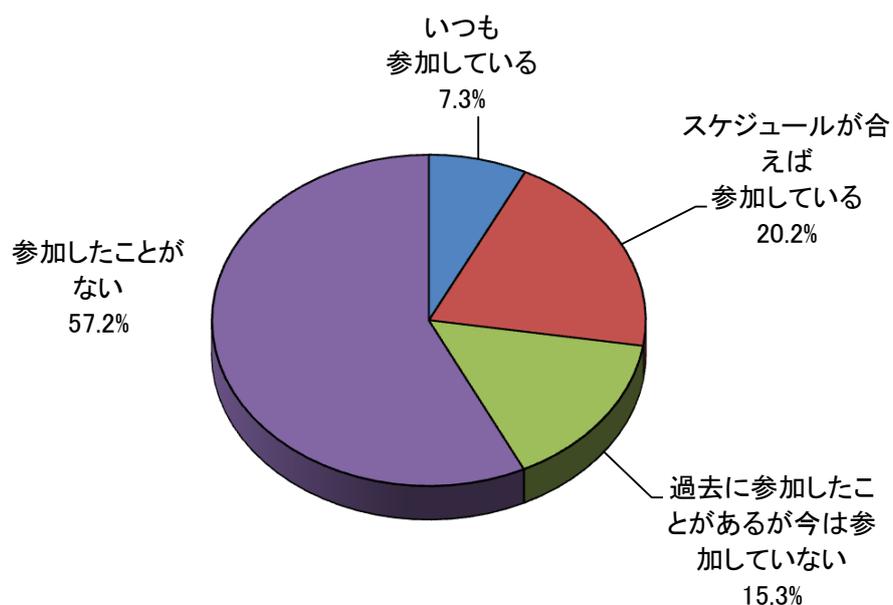


※「交流がある(計)」(88.3%)  
= 「頻繁にある」+ 「会えば挨拶をする程度である」  
+ 「祭りなどの大きな行事で交流することがある」  
「交流がない(計)」(11.7%)  
= 「していないがきっかけがあれば交流したい」+ 「交流するつもりはない」

## 地震に対する備えについて

Q 1 1 町会・自治会の防災訓練に参加したことがありますか  
該当する項目を1つだけ選んでください。

【全体】(n=928)



※「参加している（計）」（27.5%）

= 「いつも参加している」 + 「スケジュールが合えば参加している」

「参加していない（計）」（72.5%）

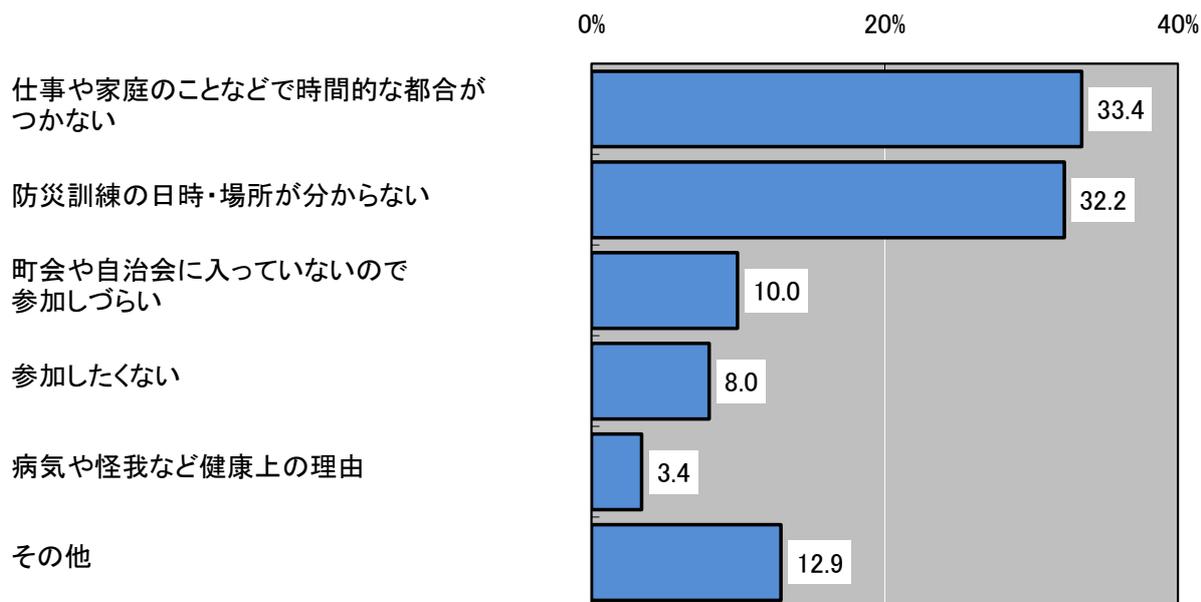
= 「過去に参加したことがあるが今は参加していない」 + 「参加したことがない」

## 地震に対する備えについて

Q11で「過去に参加したことがあるが今は参加していない」又は「参加したことがない」と選択した方にお尋ねしました。(72.5% 673人)

Q12 防災訓練に参加しない(しなくなった)のは、どうしてですか。  
該当する項目を1つだけ選んでください。

【全体】(n=673)



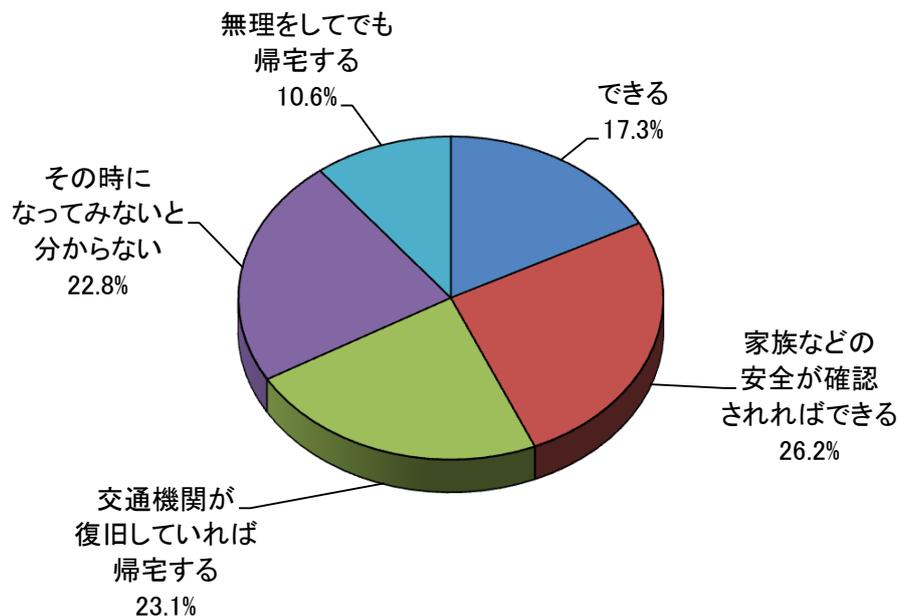
※「その他 (n=87)」については、「防災訓練の実施がない」「町会や自治会がない」等の回答があった。

## 地震に対する備えについて

Q13 会社や学校にいるとき、あるいは外出しているとき、首都直下地震が発生したら、会社や学校又は一時滞在施設（注）に3日間留まることはできますか。  
該当する項目を1つだけ選んでください。

（注）「一時滞在施設」とは、大規模な災害等が発生した際、駅周辺の滞留者や路上等の屋外にて被災した外出者で、帰宅可能になるまで待機する場所がない者を一時的に受け入れる施設のことです。

【全体】(n=928)



※「できる（計）」（43.5%）

= 「できる」 + 「家族などの安全が確認されればできる」

「帰宅する（計）」（33.7%）

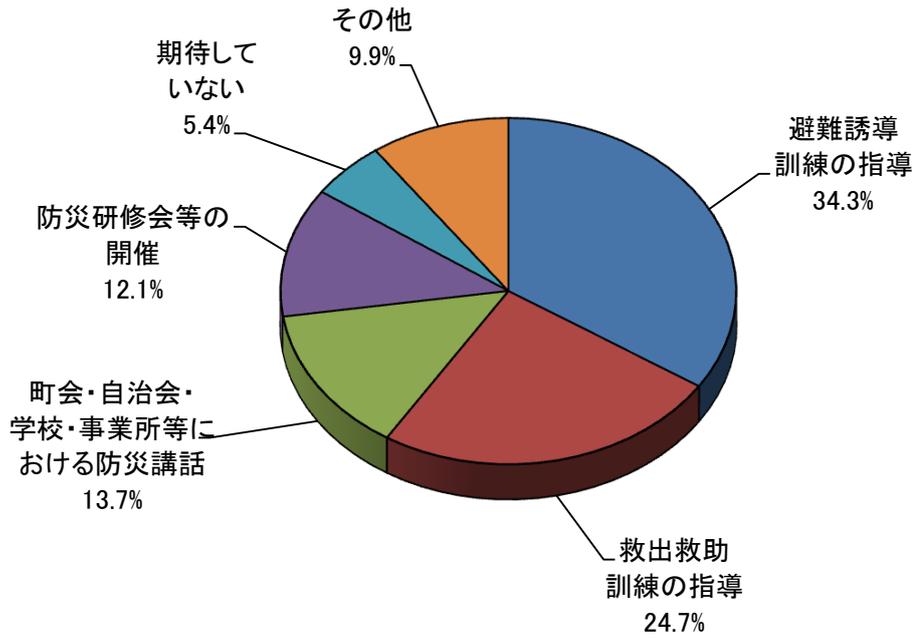
= 「交通機関が復旧していれば帰宅する」 + 「無理をしてでも帰宅する」

※「無理をしてでも帰宅する（n=98）」と回答した人の81.6%が「家族等（子ども、高齢の両親、病人、ペット等）が心配だから」という理由を挙げている。

地震に対する備えについて

Q 1 4 首都直下地震等の発生に備え、警察に最も期待する防災対策はどれですか。  
該当する項目を1つだけ選んでください。

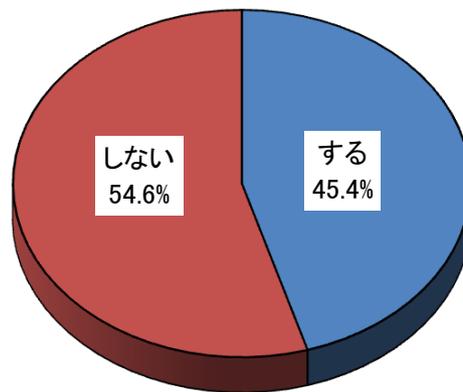
【全体】(n=928)



## 大震災が発生した場合の交通規制について

Q15 日常生活で、車を運転しますか。  
該当する項目を1つだけ選んでください。

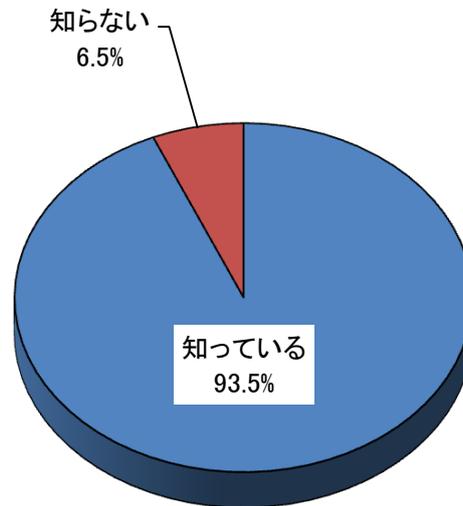
【全体】(n=928)



## 大震災が発生した場合の交通規制について

Q16 大震災が発生した場合は、車両の通行禁止などの交通規制が実施されることを知っていますか。該当する項目を1つだけ選んでください。

【全体】(n=928)

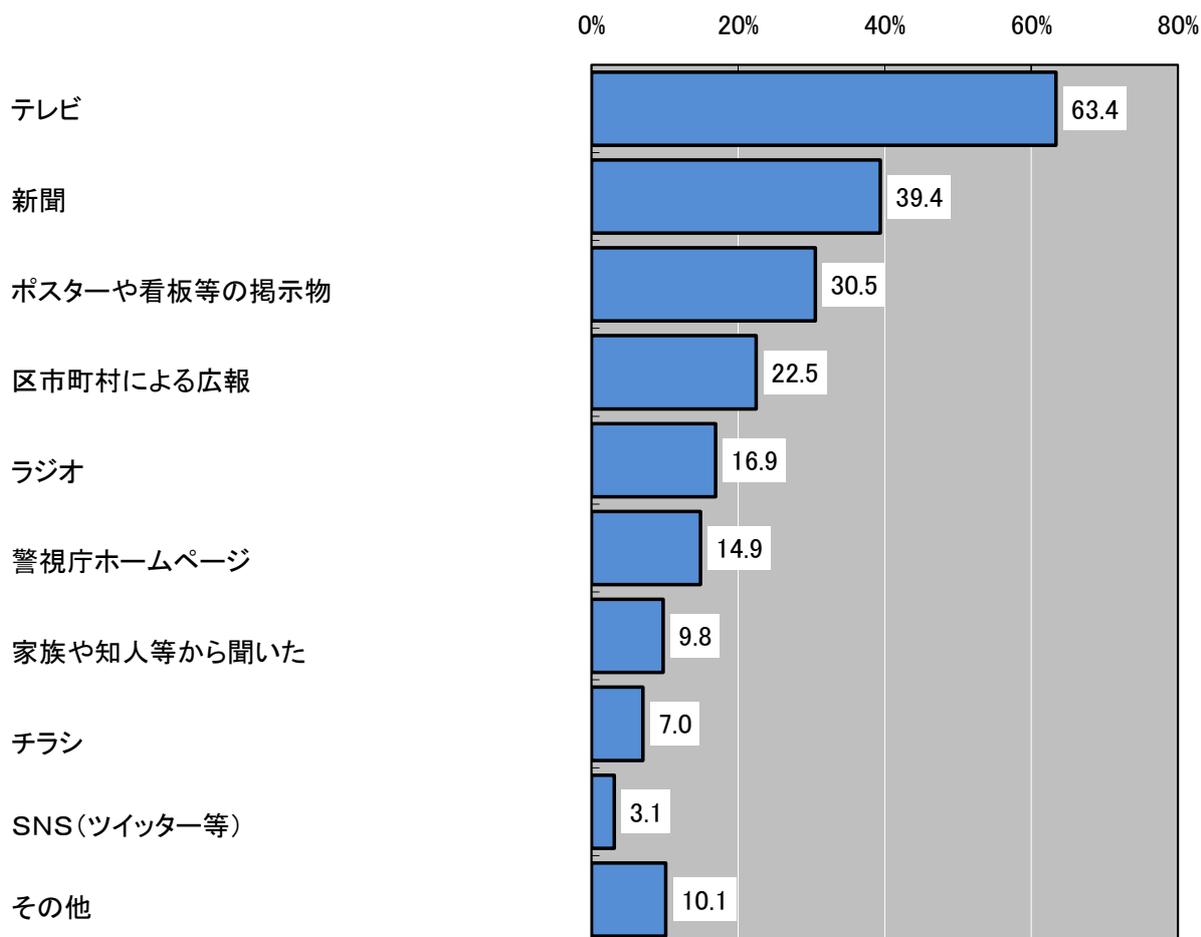


## 大震災が発生した場合の交通規制について

Q16で「知っている」と選択した方にお尋ねしました。  
(93.5% 868人)

Q17 大震災が発生した場合の交通規制をどのようにして知りましたか。  
該当する項目を選んでください(複数回答可)。

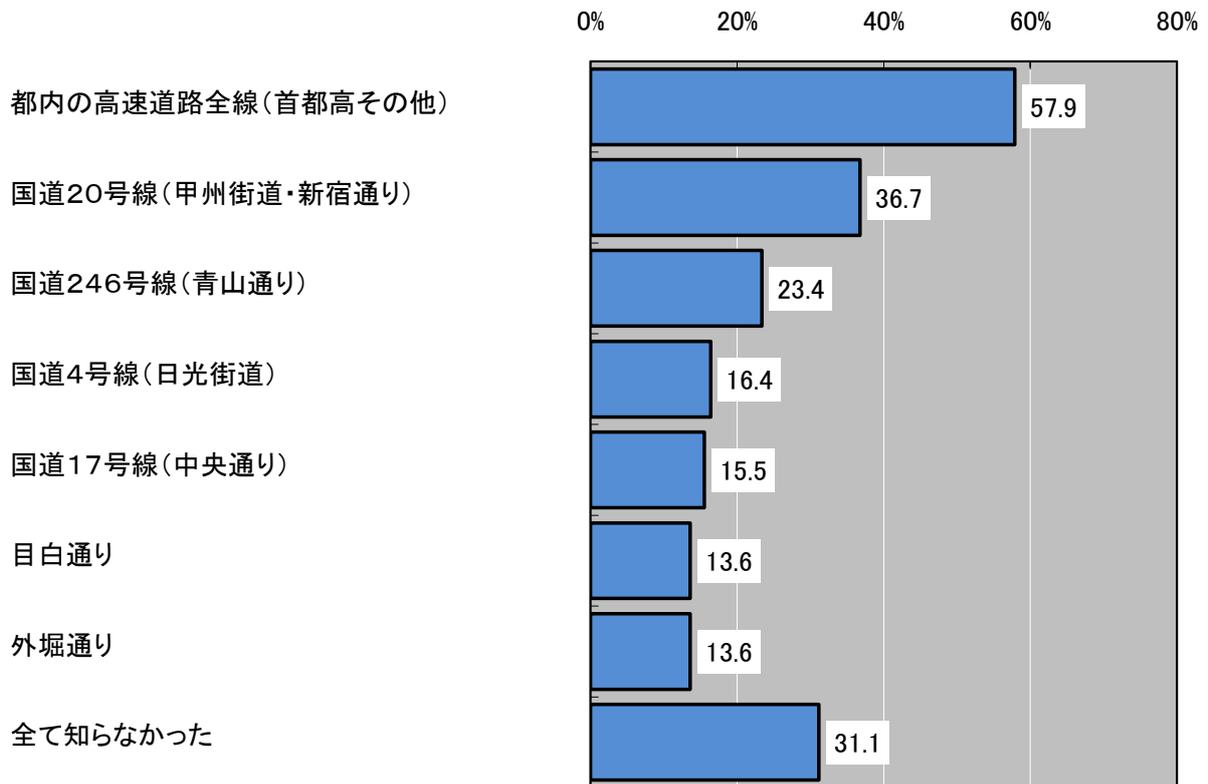
【全体】(n=868)



## 大震災が発生した場合の交通規制について

Q18 大震災が発生した場合、7つの路線が「緊急自動車専用路」に指定されて一般車両の通行ができなくなります。  
指定されることを知っていた路線を選んでください（複数選択可）。

【全体】(n=928)



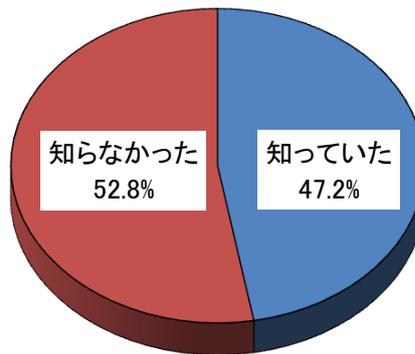
## 大震災が発生した場合の交通規制について

次の図をご覧になってから、設問にお進みください。

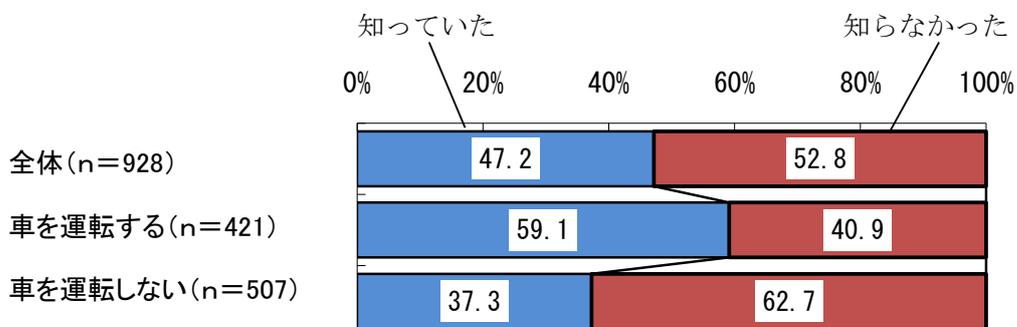


Q 19 図のように、大震災が発生した場合の交通規制では、環状7号線から都心方向に一般車両が通行できなくなることを知っていましたか。  
該当する項目を1つだけ選んでください。

【全体】(n=928)



### 車の運転の有無と交通規制（環7関係）に関する認識状況



## 大震災が発生した場合の交通規制について

Q20 大震災が発生した場合の交通規制について、警察はどのようにすべきだと思いますか。  
該当する項目を選んでください（複数選択可）。

【全体】(n=928)

